

診療上の情報公開文書

当院の医療安全管理対策委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者になられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

実施内容	せん妄に対する向精神薬の使用
使用する医薬品の名称	リスペリドン クエチアピン ハロペリドール ペロスピロン
実施責任者	医療法人 佐藤病院 医療安全管理対策委員会
対象者	当院で治療を受ける患者で、せん妄を呈した患者
承認日	2024年9月10日
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】</p> <p>当院入院中の患者に対して、せん妄の治療をする際は、向精神病薬（リスペリドン、クエチアピン、ハロペリドール、ペロスピロン）が保険適用外使用されています。抗精神病薬の適用外使用については、社会保険診療報酬支払基金が公表している審査情報提供事例において、せん妄に対する処方としてリスペリドン、クエチアピン、ハロペリドール、ペロスピロンが記載され、社会的にも認知されています。ガイドラインや文献、書籍等においても、向精神病薬が治療選択肢として記載されており、当院においても個々の事例に合わせて抗精神病薬を選択して実施します。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>各薬剤の添付文書に記載された用法用量に準じて治療を行うため、一般的に想定される副作用と同等に考えられます。副作用が出現した場合には、通常の診療にて対応を行い、必要に応じて各専門医とともに治療にあたります。</p>
お問い合わせ先	医療法人 佐藤病院 各診療科医師 代表 045-731-1515

診療上の情報公開文書

当院の医療安全管理対策委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者になられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

実施内容	不眠症治療に対する抗うつ薬の使用
使用する医薬品の名称	トラゾドン塩酸塩錠
実施責任者	医療法人 佐藤病院 医療安全管理対策委員会
対象者	当院で治療を受ける患者で、不眠症を呈した患者
承認日	2024年9月10日
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】</p> <p>不眠症治療では基本的に睡眠薬が用いられますが、患者さんの背景の背景によって使用しにくい場合があります。ベンゾジアゼピン系睡眠薬は依存形成やせん妄と呼ばれる意識障害の誘発が問題となります。また、オレキシン受容体拮抗薬やメラトニン作動薬といった睡眠薬もありますが、使用に関して禁忌事項があること、効果発現が遅いといった問題点があります。</p> <p>そのため、既存の睡眠薬では対処しきれない不眠症の患者さんが存在する状態です。トラゾドン塩酸塩錠は睡眠作用および忍容性に優れているとの報告があり、禁忌事項についても少ない薬剤です。また、ガイドラインにおいてもせん妄患者の不眠や精神疾患患者での不眠に対して使用されることの記載があります。そのため、当院では不眠症の患者さんにトラゾドン塩酸塩錠を使用する場合があります。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>トラゾドン塩酸塩錠の使用により傾眠、脱力、低血圧、QT延長といった副作用が生じる場合があります。トラゾドン塩酸塩錠を使用する際は少量からの開始を推奨し、副作用が見られた場合は減量中止を検討します。</p>